

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	17-	3	
事業名	文化振興諸経費		
会計	一般		
款	10		
項	5		
目		2	
政策	6 人生を豊かにするために	課名	社会教育課
施策	6-3 文化力の向上	係名	生涯学習係

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	文化団体（文化協会他）	目的（対象がどのような状態になっているか）	文化団体の自主・自立を促し育成することで、東員町の文化振興を推進する。
事業内容	町が委託する公民館講座をはじめとする、各種文化振興に関する事業を実施する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1	文化に関する登録指導者数	34			人		50
2								
3								
4								
5								
			令和2年度（決算）		令和3年度（決算）		令和4年度（予算）	
全体事業費（千円）A+B			9,834		9,275		9,583	
財源 内訳	直接事業費A		6,798		6,239		6,331	
	うち一般財源		6,762		6,199		6,271	
人件費（千円）B			3,036		3,036		3,252	
内訳	一般職員（人・千円）		0.46	3036	0.46	3036	0.49	3234
	臨時職員（人・千円）		0	0	0	0	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	C民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	B対象が狭すぎる
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	「公民館講座」を受講し易いように回数を減らすなど、新規受講者の懸け橋となるように取り組む。	③取組の課題	様々な講師の人材育成・確保及び幅広い年齢層に参加していただけるよう開催日(土・日)や時間帯等を見直す必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	・新規受講者を増やすため、お試し講座として「単発講座(1day)」を16講座取り入れたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。 ・QRコードを用いた申込方法により、気軽に応募ができるようになった。(ハガキでの申し込みも継続)	④今後の改善計画	時代のニーズに合った講座の開設と講師の確保に努め、併せて開催日時やスタイル(リモート等)など新たな企画・運営に取り組む。